

# 今後の財政見通しについて

令和7年2月17日  
長岡市

## 1 収支見通し

### 行財政改革の取組を反映した令和7年度当初予算案を基にしたもの

(単位:億円)

| 区分                 | R7    | R8    | R9    | R10   | R11   |    |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 歳入                 | 1,413 | 1,373 | 1,364 | 1,326 | 1,321 |    |
| 市税                 | 393   | 393   | 391   | 393   | 395   |    |
| 地方交付税              | 283   | 281   | 280   | 277   | 275   |    |
| 市債 ※借換債は除く         | 140   | 117   | 119   | 98    | 93    |    |
| うち臨時財政対策債          | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |    |
| その他                | 597   | 582   | 574   | 558   | 558   |    |
| 歳出                 | 1,442 | 1,407 | 1,406 | 1,376 | 1,357 |    |
| 人件費                | 232   | 240   | 232   | 240   | 232   |    |
| 物件費                | 227   | 227   | 228   | 228   | 229   |    |
| 扶助費                | 274   | 274   | 271   | 269   | 267   |    |
| 公債費 ※借換債は除く        | 156   | 158   | 164   | 167   | 166   |    |
| 普通建設事業費            | 244   | 201   | 204   | 164   | 154   |    |
| その他                | 309   | 307   | 307   | 308   | 309   |    |
| 収支不足額(ア-イ)         | ▲29   | ▲34   | ▲42   | ▲50   | ▲36   |    |
| 財政調整基金取崩額【当初予算】    | エ     | 29    | 34    | 42    | 50    | 36 |
| 執行時の節減等による年度内繰戻し   | オ     | 25    | 25    | 25    | 25    | 25 |
| 財政調整基金取崩額【決算】(エ-オ) | カ     | 4     | 9     | 17    | 25    | 11 |
| 財政調整基金年度末残高 前年-カ   |       | 81    | 72    | 55    | 30    | 19 |



### 令和8年度以降も現「持続可能な行財政運営プラン」の取組を継続して実施した場合

| 区分                                 | R7   | R8   | R9   | R10  | R11  |     |
|------------------------------------|------|------|------|------|------|-----|
| 収支不足額(ア-イ)                         | ▲29  | ▲34  | ▲42  | ▲50  | ▲36  |     |
| 収支改善額                              | A    | 2    | 4    | 4    | 6    |     |
| (参考:R2年度を起点とした改善額の積上げ額)            | (17) | (19) | (21) | (21) | (23) |     |
| 収支不足額(ウ+A)                         | ウ'   | ▲29  | ▲32  | ▲38  | ▲46  | ▲30 |
| (R8年度以降の収支改善額は、R7年度を起点とした改善額の積上げ額) |      |      |      |      |      |     |
| 財政調整基金取崩額【当初予算】                    | エ'   | 29   | 32   | 38   | 46   | 30  |
| 執行時の節減等による年度内繰戻し                   | オ'   | 25   | 25   | 25   | 25   | 25  |
| 財政調整基金取崩額【決算】(エ'-オ')               | カ'   | 4    | 7    | 13   | 21   | 5   |
| 財政調整基金年度末残高 前年-カ'                  |      | 81   | 74   | 61   | 40   | 35  |

### ○令和7年度当初予算

- ・「持続可能な行財政運営プラン」による当年度までの取組の収支改善(見込み)額を反映しています。
- ・物価や労務単価の高騰に伴う物件費、扶助費(福祉や子育て支援に要する社会保障費)及び人件費等の増により、財政調整基金の取崩額は29億円になりました。

### ○令和8年度以降の当初予算

- ・歳入は地方交付税を含む一般財源総額の漸減を見込む一方、歳出は物件費や公債費等の増加を見込んでいます。
- ・「持続可能な行財政運営プラン」の収支改善額は、令和7年度までの現計画の各取組の効果が令和8年度以降も持続するものとして見込んでいます。
- ・財政調整基金の年度内繰戻し額は、あらゆる財源の有効活用を図るとともに、予算執行時のさらなる節減等に努めることとし、近年の傾向を踏まえ25億円と見込みます。

### 〔試算の考え方〕

- ・試算期間は、令和7年度から令和11年度の5年間
- ・令和7年度当初予算を基に、「長岡版総合戦略」の推計人口や内閣府「中長期の経済財政に関する試算(R7.1.17)」による経済成長率、過去の決算等を踏まえ、現時点で想定される一定の前提条件により試算

| 項目      | 考え方  |  |
|---------|--|--|
| 歳入      | 市税   | ・人口や経済成長率の推計などを考慮し試算<br>(「未来への投資」実施等に伴う増収等は考慮しない)            |
|         | 地方交付税  | ・「地方一般財源総額の実質同水準ルール」が今後も継続するものとして試算(今後の給与改定に係る増減は想定しない)      |
|         | 市債   | ・普通建設事業費等の見込額に連動して試算<br>・臨時財政対策債は今後の発行が無いものとして試算             |
|         | その他  | ・都市整備基金やふるさと創生基金などあらゆる財源を活用                                  |
| 歳出      | 人件費  | ・定年延長に伴う人件費の変動を反映(今後の給与改定は想定しない)<br>(人員削減効果額は行財政改革の収支改善額で反映) |
|         | 物件費  | ・光熱費等の上昇の影響は令和6年度現在の状況をベースとし、当年度予算額及び過去の伸び率を参考に試算            |
|         | 扶助費  | ・当年度予算額、過去の伸び率及び推計人口を参考に試算                                   |
|         | 公債費  | ・既発債に加え、新規発行見込額に係る元利償還金を加えて試算                                |
| 普通建設事業費 | ・近年と同規模の事業費をベースに、主に以下の大規模事業を加えて試算<br>米百俵プレイス ミライエ長岡東館、長岡戦災資料館、与板地域交流拠点施設(仮称)、川口地域交流拠点施設(仮称)、ニュータウン運動公園野球場、アオーレ長岡(改修)、リリックホール(改修) |  |

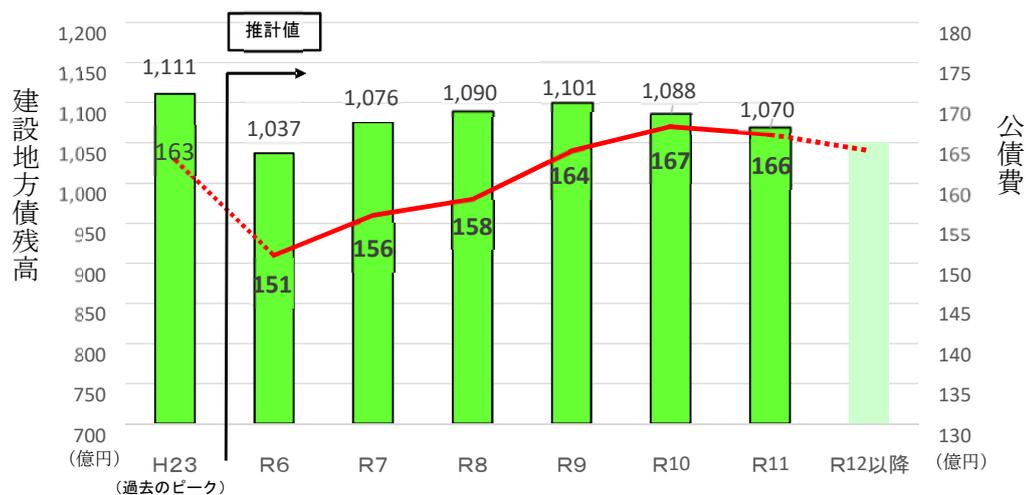
## 2 投資事業に係る見通し

- ・過去の決算や当初予算の状況と今後想定される大規模事業を反映した試算では、建設地方債残高は令和9年度がピークとなる見込みです。
- ・公債費、実質公債費比率及び将来負担比率は、いずれも当面上昇する見込みですが、健全な水準は維持できる見込みです。
- ・しかし、過度な借入れは残高の増加や財政指標の悪化を招き、財政硬直化につながることから、適正な投資規模の範囲内となるよう、今後も留意していきます。

〔令和12年度以降に大規模事業として検討が想定されるもの〕  
アオーレ長岡（改修）、悠久山野球場（改修）、各小・中学校（大規模改造）、寿クリーンセンター（更新）、寺泊水族博物館（更新）、歴史関連施設

### ア 建設地方債残高及び公債費の見通し（一般会計）

- ・現時点での建設地方債残高は、令和9年度（1,101億円）がピークの見込み
- ・公債費も増加傾向が続き、令和10年度（167億円）がピークの見込み



### イ 財政指標の見通し

- ・実質公債費比率は、今後5年間で4～5ポイント増加の見込み
- ・将来負担比率は、今後5年間で30～50ポイント増加の見込み

|         | 過去のピーク       | R5    | 今後5年間の動向   | (参考) 早期健全化基準 |
|---------|--------------|-------|------------|--------------|
| 実質公債費比率 | 17.4% (H17)  | 7.3%  | +4～5ポイント   | 25.0%        |
| 将来負担比率  | 132.4% (H19) | 73.1% | +30～50ポイント | 350.0%       |

(参考) 他団体との比較 (R5年度決算)

|         | 長岡市   | 県内市町村平均 |
|---------|-------|---------|
| 実質公債費比率 | 7.3%  | 10.9%   |
| 将来負担比率  | 73.1% | 78.7%   |